

競技も、仕事も、 自分らしく。

—アスサポあいち参加アスリートのリアルな声—

競技を続けたい。
将来のことも考えたい。
そのどちらもあきらめない。

アスサポあいちは、競技と仕事の両立を目指す
アスリートを応援します。



競技と将来。その間で揺れるアスリートへ

競技を続けたい。でも、将来のことも考えなければいけない。
そんな葛藤を抱えるアスリートにとって、「デュアルキャリア」はひとつの選択肢です。
今回は、アスサポあいちに参加したアスリートに、
参加前の悩みや参加して学んだこと、そして未来への想いについて伺いました。



INTERVIEW

た か お と も な
高尾 知那 さん

中京大学/スポーツクライミング



「迷っているなら、絶対に参加して欲しい。
行動したこと自体に価値があるから。」

葛藤と向き合いながらも前へ...

内定を得た後も、競技に対する責任や期待と向き合う中で、
自分の気持ちを見つめ直す時間があったそうです。
「クライミングへの向き合い方を改めて考える機会になりました。
クライミングを楽しむ気持ちも大切にしながら、自分らしく競技を続けていきたいと思っています。」
競技者として、そして一人の社会人として。
高尾さんは、自分らしい歩み方を見つながら、新たなステージへ進んでいこうとしています。

就活と競技。その狭間で揺れた日々

小学1年生からクライミングを始め、小学3年生で競技の道へ進んだ高尾さん。
大学3年生になると、周りの学生は既に就職活動を終えていたり、インターンシップに参加したり
と、それぞれの将来に向けて歩み始めていました。
一方で高尾さんは、競技を続けたいという強い想いがありながら、就職についても考えなければなら
ない時期を迎えます。
「私は、競技も続けたいし、就職もしたい。その間でずっと悩んでいました。
ネットや大学のキャリアセンターを活用しても、自分の競技を理解し、
両立を応援してくれる企業にはなかなか出会えませんでした。
そんな時に、大学のキャリア支援センターから紹介されアスサポあいちの事業を知りました。」

これまでの自分と向き合う時間

キャリア支援講座にはオンラインで3回参加。
過去・現在・未来と段階的に自分自身を整理するプログラムを通して、
自分とじっくり向き合う時間になったといいます。
「過去を振り返る大切な時間になりました。メモを見返し何度も考え直せたのが良かったです。
さらに、他競技のアスリートとの交流も大きな刺激になりました。
環境が整っていない中でも頑張っている人の話を聞き、自分ももっと頑張ろうと思えました。」

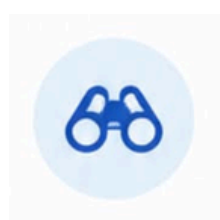
企業との対話で見た未来

マッチングイベントでは、企業と一対一でじっくり話せることが印象に残ったそうです。
「ちゃんと自分を見てもらえていると感じました。競技について深く質問してくれる企業もあり、
スポーツの特徴や必要な環境を理解しようとしてくれたのが嬉しかったです。
競技と仕事の両立を前提に、一人ひとりに寄り添って働き方を考えてくれる企業との出会いは、
大きな自信につながりました。」



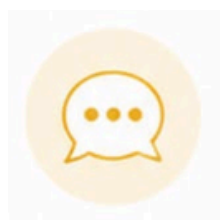
アスサポあいちで広がる未来の可能性

二人のインタビューから共通して見えてきた変化がありました



視野が広がる

これまで知らなかった
働き方やキャリアを
知ることができた。



自分と向き合い 強みが発見できる

キャリア支援講座を通して
自分自身と向き合い
考えを整理できた。



競技と仕事の 両立が実現できる

「競技を続けながら働く」
という未来が
具体的な選択肢になった。

アスサポあいちは...

**アスリートが自分らしい未来を描き
その一步を踏み出すきっかけをつくる場所です**

競技も、仕事も、自分らしく。
その思いを形にするために一人ひとりの挑戦を応援します。



あなたの未来を、一緒に考えませんか？



参加申し込み



お問い合わせ